



第59回

JMAA 海外研修団

《 サンフランシスコ + サンノゼ 研修 》

研修期間:2026年10月18日(日)~ 24日(土) 7日間

募集要項

企画主催:一般社団法人日本雑誌広告協会

実施手配:株式会社東武トップツアーズ

【はじめに】

毎年恒例となっておりますJMAA海外研修団は、本年、新たな挑戦としてサンフランシスコおよびシリコンバレーを訪問いたします。これまでニューヨークやヨーロッパを中心に実施してまいりましたが、本年は日本雑誌広告協会として初めて、テクノロジー企業を主軸とした研修を実施いたします。

デジタル化とAIの進展により、メディア環境は急速に変化しています。出版・広告ビジネスも例外ではなく、従来の枠組みを越えた発想と構造転換が求められています。本研修では、テクノロジーの最前線に立つ企業から直接学び、メディアとテクノロジーの融合がもたらす未来像を自らの目で確かめ、業界の次の一步を考える機会としたいと考えております。

昨年より開始した事前勉強会は本年も継続し、単なる視察にとどまらない、主体的で実践的な研修を目指します。準備段階から議論を重ね、明確な問題意識をもって現地に臨むことで、より深い学びと成果を得ることを目標といたします。

変革期にある今だからこそ、新たな挑戦にご参加いただければ幸いです。

【本海外研修の目的と勉強会】

本研修のテーマは「テクノロジーはメディアをどう変えるか？」です。

テクノロジーの進化は、コンテンツの創造、流通、広告ビジネスの構造そのものを変えつつあります。本研修では、シリコンバレーという世界有数のイノベーション拠点において、その変化の源泉を学び、今後の出版・広告ビジネスの可能性と戦略を考察します。

事前勉強会では、地域のビジネス環境の理解に加え、研修テーマの具体化、ディスカッションアジェンダの策定までを行います。参加者一人ひとりが課題意識を明確にし、研修成果を各社・各自の実務へと還元することを目指します。

【スケジュール(概要)】

- 4月末 :参加者応募第一次締め切り
- 5月12日(火) :16:00 第一回渡航説明会
- 6月2日(火) :16:00 勉強会①(シリコンバレー・ビジネス概論
/テーマ共有・訪問企業担当チーム分け)
- 7月1日(水) :16:00 勉強会②(企業研究・ディスカッションアジェンダ作成)
- 9月30日(水) :16:00 勉強会③(最終渡航説明会・アジェンダ整理・壮行会)
- 10月18日(日)~10月24日(土):海外研修団渡航
- 11月上旬 :報告会(アンケート・次年度実施へ改善点など提案)

全体スケジュール(仮)

日付	都市	交通	時間	スケジュール	食事
1 10/18 (日)	羽田	各自 JAL2便	16:25	羽田空港集合 サンフランシスコorサンノゼへ出発 ****日付変更線通過****	機内 昼食:○ 夕食:×
	SFO		9:25	サンフランシスコ到着、専用車にてホテルへ 市内レストランにて昼食	
				サンフランシスコ〈泊〉	
2 10/19 (月)	SFO	専用車	AM	「X」視察	朝:○ 昼:× 夕:×
			PM	「Pinterest」視察	
				サンフランシスコ〈泊〉	
3 10/20 (火)	SFO	専用車	AM	「VIZ Media」視察	朝:○ 昼:× 夕:×
			PM	「Open AI」視察	
				サンフランシスコ〈泊〉	
4 10/21 (水)	SFO	専用車	AM	「Digital Garage」視察 サンノゼへ移動	朝:○ 昼:× 夜:×
	サンノゼ		PM	「Google」「IT博物館」等見学	
				サンノゼ〈泊〉	
5 10/22 (木)	サンノゼ	専用車	夕方	「Meta」視察(プレゼンテーション+ディスカッション) サンフランシスコへ移動	朝:○ 昼:× 夕:×
	SFO			サンフランシスコ〈泊〉	
6 10/23 (金)	SFO	JAL1便	11:55	サンフランシスコ出発	機内
7 10/24 (土)	羽田		15:05	羽田到着後、各自解散	機内

*2026年3月作成。上記視察先(訪問先)及び航空機は変更となる場合があります。
正確な訪問先及び航空機/発着時間などは最終書類でご案内いたします。

視察予定先一例



◆ Digital Garage

場所：サンフランシスコ

業種：IT企業

インターネット関連事業を展開する日本のIT企業。
IT/MT/FTの3つのテクノロジーをコンテキストで結びつけるビジネスモデルを強みとする。

- 持続可能な社会に向けた「新しいコンテキスト」をデザインし、テクノロジーで社会実装するというパーパスのもと、決済プラットフォーム、メディア事業、グローバル投資事業の3セグメントを軸にグループ連邦経営を推進。
- ファーストペンギン・スピリット(リスクを恐れず先駆ける社是)を掲げ、1955年d操業以来、インターネットの波に乗りながらイノベーションをリードしている。

* 2025年のハイライト*

AI・web3のR&B強化で、持続可能社会への貢献を加速。

* 強み*

創業以来の「コンテキスト創出」コンセプトが、デジタルトランスフォーメーション時代にマッチ。



◆ X (旧Twitter)

場所：テキサス州オースティン ※2024年にサンフランシスコから移転

業種：IT企業・ソーシャルメディア

リアルタイムな情報共有を主軸とする、世界最大級のソーシャルネットワークワーキングプラットフォーム。短文投稿型のSNSから脱却し、動画、音声、AI、さらには金融サービスまでを統合した万能アプリへの進化を強みとする。

- 「デジタルのTown Square（公共の広場）」として言論の自由を重視しつつ、従来の広告収益モデルに加え、サブスクリプション（X Premium）やクリエイター収益化プログラム、データライセンスを軸に事業構造の変革を推進。
- 2006年の創業（Twitterとして）以来、世界のリアルタイムな情報インフラとして機能。2022年の経営権移行以降は、圧倒的なスピード感で大規模な構造改革や新機能の実装を進めるアグレッシブな企業文化を持つ。

* 2025年のハイライト*

独自生成AI「Grok」のプラットフォーム統合強化と、クリエイターエコノミーおよび動画・決済機能の継続的な拡充。

* 強み*

世界中のニュースやトレンドが瞬時に集まる「圧倒的なリアルタイム性」と、独自のソーシャルグラフによる爆発的な拡散力。

視察先は予定であり、訪問先の都合により変更する場合があります。

視察予定先一例

◆Pinterest



場所：サンフランシスコ

業種：IT企業・ビジュアル探索プラットフォーム

暮らしや趣味のアイデアを画像や動画で発見し、保存・整理するビジュアルディスカバリーエンジン。ユーザーの「未来の行動（買い物やDIY、旅行の計画など）」を支援し、その高い購買意欲を広告やEコマースに直接結びつけるビジネスモデルを強みとする。

- 「人々にインスピレーションを与え、夢見た人生を実現させる」というミッションのもと、AIを活用した高度なレコメンドシステムと、シームレスなショッピング機能を軸に事業を展開。
- 2010年の創業以来、過去の出来事や他者との比較ではなく「自分の未来」に焦点を当てる、ポジティブで安全なインターネット空間の維持にこだわり、独自の立ち位置を確立している。

* 2025年のハイライト*

AIを活用したパーソナライゼーションのさらなる高度化と、プラットフォーム全体でのシームレスな購買体験（ショッパビリティ）の強化。

* 強み*

ユーザーが明確な目的や興味を持って訪れるため、ブランドや商品との親和性が非常に高く、実際の購買行動に直結しやすいこと。

◆VIZ Media



場所：サンフランシスコ

業種：出版・エンターテインメント企業

北米をはじめとする英語圏を中心に、日本のマンガ・アニメの翻訳出版や映像配信を展開するエンターテインメント企業。日本のポップカルチャーを世界へ届けるパイプ役として、出版、アニメーション配信、グッズなどのライセンス事業を多角的に組み合わせるビジネスモデルを強みとする。

- 「日本の最高のエンターテインメントを世界中のファンに届ける」という使命のもと、小学館、集英社、小学館集英社プロダクション（ShoPro）の共同出資会社として、デジタル定額制プラットフォーム（Shonen Jumpアプリなど）とグローバル展開を推進。
- 1986年の創業以来、北米市場におけるマンガ・アニメ文化の開拓者（パイオニア）として、正規版の普及に尽力し、現在のグローバルな日本カルチャーの波を牽引している。

* 2025年のハイライト*

デジタルプラットフォームを通じた日米同時配信の拡大と、ハリウッドでの実写化・アニメーション協業のさらなる強化。

* 強み*

親会社（小学館・集英社）が持つ世界トップクラスの強力なIP（知的財産）ポートフォリオと、数十年かけて築き上げた海外ファンの熱狂的かつ強固なコミュニティ基盤。

視察予定先一例

◆OpenAI

場所：サンフランシスコ

業種：IT企業・AI（人工知能）研究開発

OpenAI

世界をリードする最先端の生成AIの研究・開発を行う企業。超大規模な基盤モデル（ChatGPTなど）を開発し、個人向けサブスクリプション、企業向けソリューション、および開発者向けAPI提供をエコシステムとして結びつけるビジネスモデルを強みとする。

- 「汎用人工知能（AGI）が全人類に利益をもたらすことを確実にする」というミッションのもと、AIの安全性と高度な能力の両立を目指し、コンシューマー、エンタープライズ、研究開発の3セグメントを軸に事業を劇的に拡大。
- 2015年の創業以来、パラダイムシフトを引き起こし、生成AIブームの火付け役として圧倒的なスピードで技術革新（イノベーション）をリードし続けている。

* 2025年のハイライト *

高度な推論モデル（oシリーズなど）の強化と、自律型AIエージェントの社会実装を通じたあらゆる産業の生産性向上。

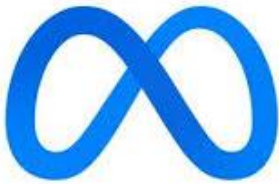
* 強み *

世界最先端のAIモデル開発力とそれを支える大規模な計算資源、そして世界中で利用される「ChatGPT」を通じた膨大なフィードバックループの強固さ。

◆Meta（旧Facebook）

場所：カリフォルニア州メンローパーク（シリコンバレー）

業種：IT企業・ソーシャルメディア・テクノロジー



世界最大のSNSプラットフォームの運営と、次世代コンピューティングプラットフォーム（メタバース）の開発を展開する巨大IT企業。数十億人規模のユーザーデータと高度なAIアルゴリズムを掛け合わせた強力なデジタル広告を展開。

- 「コミュニティづくりを応援し、人と人とのつながりを密にする」というミッションのもと、Facebook、Instagram、WhatsAppなどを展開する「Family of Apps（アプリ部門）」と、AR/VRおよびメタバース構築を担う「Reality Labs（現実空間ラボ部門）」の2セグメントを軸に事業を推進。
- 2004年の創業以来、「Move Fast（素早く行動する）」というハッカー文化を根底に持ち、SNSの覇者となってからも社名を変更（2021年）してまで未知の領域であるメタバースやAIへ巨額の投資を続ける、極めて大胆なトップダウン型の企業文化を持つ。

* 2025年のハイライト *

オープンソースの大規模言語モデル（Llamaシリーズ）のエコシステム拡大と、スマートグラスや次世代ARデバイスを通じた「現実世界とAIのシームレスな融合」の加速。

* 強み *

世界人口の約半分（数十億人）が日常的に利用する圧倒的な顧客基盤と、他社の追随を許さない規模のAIインフラ投資能力、そして優秀な人材を惹きつける世界トップクラスのAI研究機関

視察先は予定であり、訪問先の都合により変更する場合があります。

●アメリカ全域



●カリフォルニア州北部

・サンフランシスコ



・サンノゼ



年間を通じて冷涼な気候であり、夏場でも朝晩は霧による肌寒さを感じるのが特徴です。都市部に人材や情報が密集する利点を活かし、Digital Garageをはじめ、OpenAIやPinterestなど、AI・Web3・ソーシャルメディアなどの最先端ソフトウェア企業が集積するトレンドの発信地となっています。

サンフランシスコから南へ約80kmに位置する、通称「シリコンバレーの首都」と呼ばれる都市です。サンフランシスコとは対照的に年間を通して温暖で晴天が多く、その広大な土地を活かして、大手半導体メーカーやハードウェア企業、世界的なSaaS企業(AdobeやCiscoなど)が巨大な本社キャンパスを構えています。

ヒルトン サンフランシスコ ユニオン スクエア(仮)

Hilton San Francisco Union Square

【住所】 333 O'Farrell St, San Francisco, CA 94102

【チェックイン/チェックアウト】 15:00/12:00

【客室数】 1919室

【空港からのアクセス】

- ・サンフランシスコ国際空港から車で約30分
- ・ノーマン・Y・ミネタ・サンノゼ国際空港から車で約40分



サンフランシスコの中心地、ユニオンスクエアから数ブロックに位置する西海岸最大級のランドマークホテルです。最大の魅力は、市内観光やビジネスの拠点となる圧倒的な立地の良さ。ケーブルカーの乗り場やショッピングエリアへのアクセスも抜群です。高層階の客室やラウンジからは市街のパノラマ絶景を見渡すことができ、活気あふれる都市の熱気と洗練された滞在を同時に味わえます。



客室イメージ

*ホテルは変更となる場合があります。

エンバシー スイーツ バイ ヒルトン サンタ クララ(仮)

Hilton San Francisco Union Square

【住所】 2885 Lakeside Drive, Santa Clara, California, 95054, USA

【チェックイン/チェックアウト】 15:00/12:00

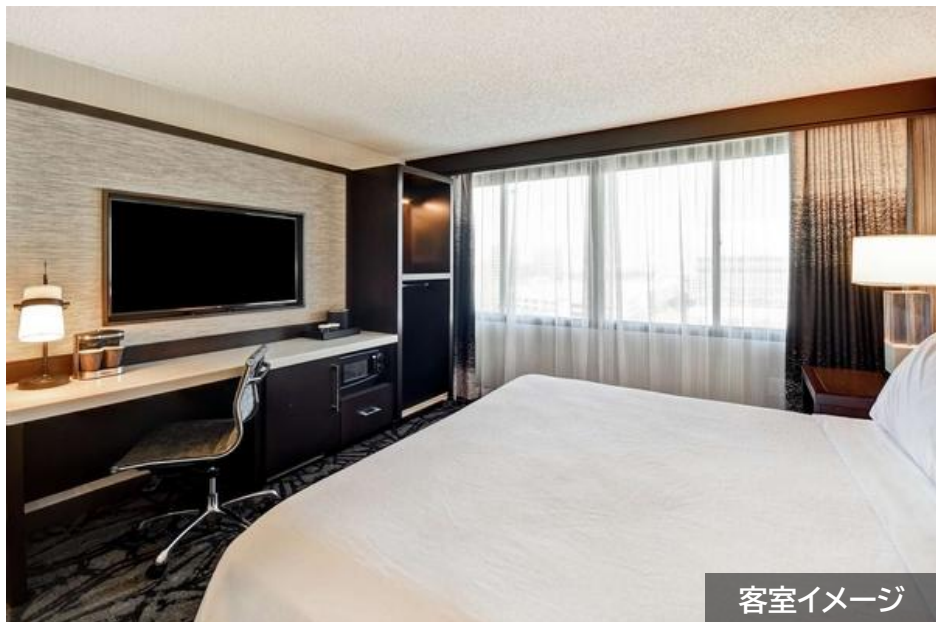
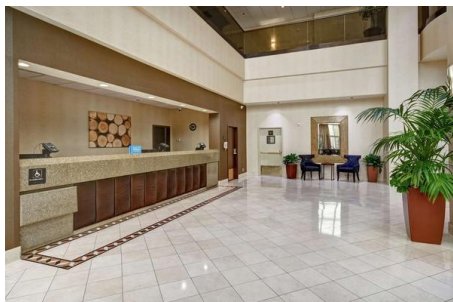
【客室数】 257室

【空港からのアクセス】

- ・ノーマン・Y・ミネタ・サンノゼ国際空港から車で約10分
- ・サンフランシスコ国際空港から車で約40分



シリコンバレーの中心、サンタクララに位置する全室スイートルーム仕様のホテルです。広々としたリビングと寝室が分かれたゆとりある空間が魅力で、中長期のビジネス滞在でも暮らすように快適に過ごせます。宿泊者無料のオーダーメイド朝食や、夕方の無料ドリンクサービスなど、充実した特典も人気です。インテル本社やリーバイス・スタジアムにも近く、周辺のテック企業へのアクセスも至便です。



客室イメージ

*ホテルは変更となる場合があります。

第59回 JMAA海外研修団 実施要項

●旅行期間

2026年10月18日(日)～24日(土) 7日間

●旅行経費(お一人様):1室1名利用

参加人数13名の場合:¥1,065,492

参加人数15名の場合:¥997,579

*参加人数に応じて、旅行経費が変更となる場合がございます。

●最小催行人員 13名様

●諸経費

保険代、資料費、懇親会費などの経費3万円を一般社団法人日本雑誌広告協会へお支払い願います。

●第一次申込締切 2026年4月30日(木)

*5月以降も募集継続

●説明会 2026年5月12日(火)16:00～

●旅行費用に含まれるもの

- ① 日程記載の航空運賃(エコノミークラス)
- ② 燃油サーチャージ等 TAX
- ③ ホテル代:1室1名様
- ④ 食事代:朝食1回&4回分現金支給、昼食1回
- ⑤ 手荷物運搬料金(各地空港お一人様23kgまで無料)
- ⑥ 視察に関する通訳費用
- ⑦ 旅程に記載の移動に要する移動費用
- ⑧ 添乗員が同行いたします。

旅行費用に含まれないもの

- ・アメリカ電子渡航認証(ESTA)登録代行費用
実費\$40.27 + ¥6,600
- ・任意の旅行傷害保険
- ・個人的性質の各種費用(小遣い、土産代など)
- ・手荷物重量超過料金(23kgを超えるもの)

●旅行申込方法

日本雑誌広告協会にご連絡をいただいた後に、申込フォームのURLをお送りいたします。

その後のお手続きは、取扱旅行会社東武トップツアーズ株式会社より追ってご連絡いたします。

●振込先

銀行名:三菱UFJ銀行
支店:八重洲通支店
口座:普通0023290
名義:東武トップツアーズ株式会社 東京法人東事業部

●規約事項

旅行中天災事変、火災、政府及び公共団体の命令、政変、ストライキ、戦争、暴動、流行病、隔離、税関規則等不可抗力の事由により生じた損害、盗難、詐欺、暴行、傷害等会社及び旅行会社の責任外の事故による損害または参加者が諸法令、或いは公序良俗に反する行為のための生じた損害については責任を負うことは出来ません。なお航空機、鉄道船舶などの運輸機関の運賃変更、スケジュールの変更が合った場合、その他止むを得ざる事情があった場合などは、経費・日程を変更する場合があります。その他の規約事項は弊社旅行業約款によります。

*個人情報保護法にもとづき、申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、旅行サービスの手配及び、それらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。また、当社の提携する企業の商品やサービスのご案内、旅行参加後のご意見やご感想の提供のお願い、アンケートのお願い、海外旅行のご案内等にお客様の個人情報を利用させていただくことがあります。

◎パスポートについて

原則、米国に入国する際には、滞在期間に加えて6か月間有効な旅券を所持している必要がありますが、有効なパスポートをお持ちでない方は、各都道府県の旅券窓口にて切替申請をお願いします。

●渡航手続き

既に5年又は10年有効の旅券をお持ちの方はその旅券のコピーと写真1枚をご用意ください。

※新規に旅券を申請する方は、下記の書類をご用意の上、現住所にある各都道府県の旅券センターにて申請を行ってください。

- | | |
|-----------------------|-----|
| 1.一般旅券発給申請書 | :1通 |
| 2.戸籍謄本(全部事項証明書) | :1通 |
| *申請前6カ月以内に発行されたもの | |
| 3.写真(縦4.5cm × 横3.5cm) | :1枚 |
| 4.本人確認書類 | |

●おことわり

出発前の大幅な為替変動、航空運賃の改定、または燃油特別付加運賃(燃油サーチャージ)の値上がりにより、旅行代金が増加となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

●取消料について

旅行参加申し込み後、お客様のご都合で旅行を取りやめる場合は取消料が発生します。

*ホテル

2026年9月12日以降:100%

*飛行機

2026年9月15日以降:取消料33,000円

※4月30日までに発券済みの方は

すでに取消料33,000円が発生しております。

NO-SHOW:38,000円

◆お問合せ・お申込み◆

一般社団法人 日本雑誌広告協会

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-32-32

出版クラブビル 6階

TEL:03-3291-6202 FAX:03-3291-6240

Mail:satomi@zakko.or.jp